

令和2年度 ー関西大学ラグビー戦績ー

コロナ禍の為、試合数削減して開催され、Bリーグ12チーム中11位

●各グループ3チーム×4グループの総当たり戦

大学Bリーグ B1

順位		大阪体育大学	花園大学	神戸大学	勝	負	分
1	大阪体育大学	*	47 - 22 ○	97 - 21 ○	2	0	0
2	花園大学	22 - 47 ●	*	50 - 20 ○	1	1	0
3	神戸大学	21 - 97 ●	20 - 50 ●	*	0	2	0

大学Bリーグ B2

順位		龍谷大学	大阪教育大学	大阪経済大学	勝	負	分
1	龍谷大学	*	24 - 12 ○	49 - 17 ○	2	0	0
2	大阪教育大学	12 - 24 ●	*	35 - 7 ○	1	1	0
3	大阪経済大学	17 - 49 ●	7 - 35 ●	*	0	2	0

大学Bリーグ B3

順位		追手門学院大学	大阪工業大学	京 都 大 学	勝	負	分
1	追手門学院大学	*	22 - 17 ○	55 - 19 ○	2	0	0
2	大阪工業大学	17 - 22 ●	*	31 - 14 ○	1	1	0
3	京 都 大 学	19 - 55 ●	14 - 31 ●	*	0	2	0

大学Bリーグ B4

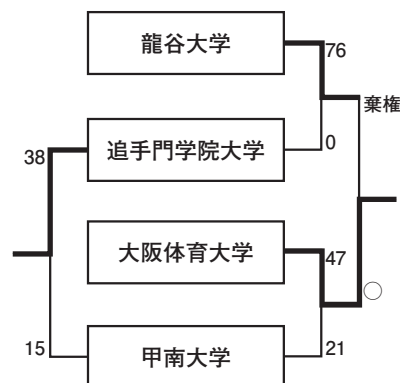
順位		甲南大学	大阪産業大学	大阪国際大学	勝	負	分
1	甲南大学	*	26 - 24 ○	32 - 0 ○	2	0	0
2	大阪産業大学	24 - 26 ●	*	25 - 24 ○	1	1	0
3	大阪国際大学	0 - 32 ●	24 - 25 ●	*	0	2	0

●関西大学Bリーグ最終順位

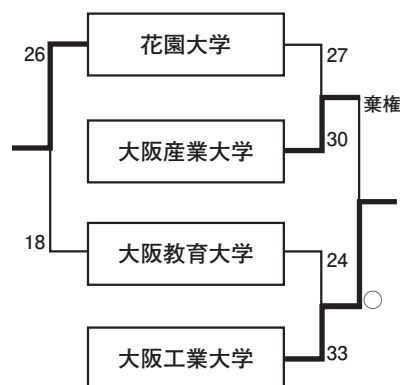
- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1位：大阪体育大学 | 6位：大阪産業大学 | 11位：神戸大学 |
| 2位：龍谷大学 | 7位：花園大学 | 12位：大阪経済大学 |
| 3位：追手門学院大学 | 8位：大阪教育大学 | |
| 4位：甲南大学 | 9位：大阪国際大学 | |
| 5位：大阪工業大学 | 10位：京都大学 | |

●順位トーナメント

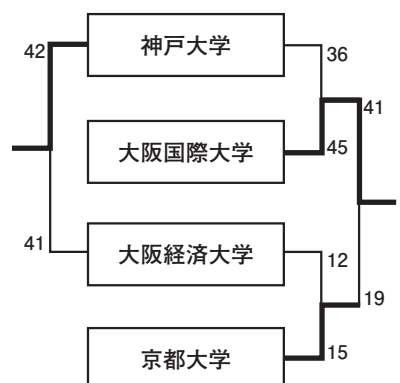
上位トーナメント（1位ー4位）



中位トーナメント（5位ー8位）



下位トーナメント（9位ー12位）



2020 年リーグ戦・試合結果

2020年度のリーグ戦は、コロナ禍の影響により、変則的な方式で試合数を削減し、入れ替え戦なし、無観客で開催されました。まず、1次リーグとして、12チームを3チームずつB1からB4の4グループに分けてリーグ戦を行い、次に、1次リーグの各グループでの同順位同士4チームで行う順位トーナメントが実施されました。神戸大学は、1次リーグのB1グループでは0勝2敗となり、順位トーナメントでは下位グループ(9位～12位)に回り、初戦は敗戦、11位・12位決定戦は大経大に終了間際逆転勝利しました。最終的には、Bリーグ12チーム中11位(1勝3敗)で2020年度のリーグ戦を終了しました。準備期間が短く、制約の多い難しいシーズンを、チーム一体となって乗り越えてくれたと思います。また、Cリーグから数年ぶりに戻ってきた甲南大学が4位と健闘したことも称えたいと思います。無観客戦ということで、OBや父兄向けに、試合をFacebookで動画配信してくれた現役チームの配慮に感謝します。

11/1(日) 花園大学戦 14:00 KO

@京都吉祥院グラウンド

前半 8-19 後半 12-31 合計 20-50

【戦評】

前半はPGで先制しその後も敵陣に入り込むことができたが、チャンスの場面でのミスが目立ってしまった。それと対照的に相手は外国人留学生を中心に少ないチャンスをものにして得点していたこともあり、前半をリードされる展開になった。後半も先制することができたがDFの場面で相手に差し込まれる場面が多く、外国人留学生に多くトライを許してしまった。またATでも縦の勢いがなく得点に結びつけることができず、敗戦してしまった。DFの部分に課題が残る試合だった。

11/22(日) 大阪体育大学戦 14:00 KO

@大阪体育大学グラウンド

前半 7-54 後半 14-43 合計 21-97

【戦評】

試合開始からフィジカルの部分で相手に圧倒されてしまい、大量失点を許してしまう。前半ラストワンプレーで自陣ゴール前からボールをつないでいきトライをもぎ取って前半を終えることができた。ただ、後半もDFの部分やスクラムで相手に圧倒されてしまい、大敗する結果となった。しかし、後半ではインターセプトから2本トライをとるなど強豪校相手に一矢報いることができた試合でもあった。

11/29(日) 大阪国際大学 15:00 KO

@神戸製鋼灘浜グラウンド

前半 17-14 後半 19-31 合計 36-45

【戦評】

前半はDFでのオフサイドやノットリリースザボールな

どの反則を多く犯してしまい自陣に攻め込まれることが多く失点していた。しかし、風上であったこともありエリアマネジメントで優位に立つことができ、また課題であったAT時の敵陣深く出のミスもなく、今シーズン初めて前半をリードして折り返した。後半に入っても反則が多くなり、立て続けに3本トライを許してしまった。終盤に2トライするも敗戦することになってしまった。ATの課題は克服できていたが、自分たちの反則で自滅してしまう結果となり、ディシプリン(規律)の部分で課題が残る形となった。

12/6(日) 大阪経済大学戦 15:00 KO

@大阪経済大学グラウンド

前半 21-17 後半 21-24 合計 42-41

【戦評】

この試合でも自分たちの反則が原因で自陣深くに攻め込まれて失点してしまう試合展開だった。しかしこちら側も敵陣に攻め込んだ時にはしっかり得点することができていた。ATではFWでもBKでも優位に立つことができ、この試合も前半をリードして折り返した。後半に入るとセットプレーで劣勢になってしまい、スクラムでのペナルティが原因で自陣に攻め込まれ失点してしまった。しかしATでは敵陣での集中力を保ち、ラストワンプレーで三輪主将がトライし、その後のコンバージョンが決まり劇的な勝利となった。シーズン最終戦を勝利で終えることができた。



大体大戦観戦記 (S53 卒 磯江憲夫)

11/22は森岡監督の代行で試合観戦をする平山部長を大体大まで小職の車で送り、グラウンドへの入場制限の為、小職は駐車場の柵越しに遠くからであったが、神戸大vs大体大を観戦した。

11/22の大体大戦は21-97(前半7-54、後半14-43)の大差の敗戦ではあったが、前半40分を越えてから、44分に自陣ラックから三輪主将がボールを奪取し、縦を突いて大体大の守備を破り、それを油谷君がフォローしトライ前半オーバータイムのトライには溜飲が下がった。大差がついた前半戦の最後の一矢報いる事が出来た。

また、後半も大きな失点にも気持ちが折れず、二のつインターセプト(一つ目は南君。自陣10ヤードから。更に

山内君これも自陣から。)で2トライを返した。反省点は多々あるが、やられっぱなし感がない、次戦が楽しみになる良いゲームであった。(個人的な感想)

但し大体大は体幹の強さ、フィットネスの強さで神戸大を圧倒凌駕しており、ライアウトからモールで複数トライを決められ、明白なスクラムトライも二度(一度は20ヤード以上押された)あった。防戦一方の中、途中のトライは真ん中を抜かれ、ボックスも抜かれ、振られ、苦戦の連続であった。圧倒的体力差のある私大に勝つには、技と戦略を磨き抜く事の必要性を痛感した。

▶花園大戦から改善されていたポイント

1. キックオフの狙い所がワンパターンではなくなっていた。
2. 大差の得点差にも関わらず、部員各位の戦意が継続されていた。
3. 防戦一方であったが、アタック時の不用意なノックオンが減った。

▶改善すべき点

1. 待つタックル(タックルを待つのは)はよくない。抜かれるのを恐れているのかもしれないが、もっと前に出てタックルに行く様に。(平山部長からの追加コメントです。)
2. セットスクラムの強化。大体大戦は、マイボールスクラムでフッキングしたボールがNo.8に来る前に押し切られる事もあった。せめて数秒は持ちこたえるだけの筋力と技(姿勢と首とスクラムワーク。まともに押させない。)を身に着ける事。一方、スクラムが押し負ける時のクイックスローイン&アウトは、花園大戦より心掛けられていた。
3. 相手に攻撃権が移るだけのキックは避ける事。
4. バックスライン攻撃のチャンスは限られていたので、SHから離れたSOにパスをするだけでなく、ラック、モールサイドの近傍を加速して抜くFBのライン参加等のプレーがあればゲインの可能性が増えていたかも。
5. キックオフのミスキックはいただけない。センターで相手ボールスクラムになり、スクラムで圧倒的に負けている相手では致命傷になる。

▶体格差、体力差のある相手との試合に際して

1. 相手に当たる時は、相手の体の中心に当たらず、右肩か左肩の端にズラせて当たる様にする。自分は相手の衝撃をモロに受ける事なく、自分も前進可能になる。
2. 大きく重く太い相手へのタックルは下肢に行く事。バインドして倒す事。上半身に行くと体格差がある相手は倒せず、跳ね飛ばされ、止められない。下へのタックル時に相手にボールをつなげられる事は恐れぬ事。タックルで態勢を崩される事により、ノックオンや、スローフォワードに繋がる。また、倒せばTurn overに繋がる。
3. ハンドオフにはボクシングのガード法を応用し、モロにもらわぬ様に。ハンドオフするヤツは何度もしてくる。
4. 体格の差、筋力の差がある時は、相手より先にラックに行く、モールに行く。スピード、走力、持久力、戦

略脳は神戸大学でも向上させる事は可能。パワーで負けても、スピードと戦略で勝つ。

5. 戦略と定石を各位が熟知し、自分の位置とボールの位置を認識し、次はどこに行けばよいか、どう動けばよいかを各位が賢く判断し、動く事。Bリーグライバル校は勿論、Bリーグ上位、Aリーグ下位に勝つ戦略・戦術を全部員が知り、その戦略・戦術に沿って動ける様になる事。
6. 相手に攻撃権が移るだけの無駄なキックは避ける事。
7. ラックでは、ボールを持って倒れた相手をジャッカルし、ノットリリースを誘える技術を養う事。すぐに相手にボールを出さず、展開を遅らせる。(ルール改正でノットリリースが取られやすくなった。)
8. モールでは、相手のバインディングの間に体を割り込ませて、バインディングを切り、モールを正面から割る事も試みる事。(経験上、過去よく成功した。)

三商戦・定期戦

2020年度は、三商戦をはじめとする定期戦は全て中止となりました。

(参考)

大阪市立大学：関西大学Cリーグ 4位(12チーム中)

一橋大学：関東大学対抗戦Bリーグ 4位(8チーム中)

今シーズンを振り返って(主将：三輪侑史)

(1) 御礼

まずは、今シーズンを通しまして応援して下さったOB・OGの皆様およびサポートして下さいました部員の保護者の方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。皆様のサポートのおかげで、この苦しいシーズンを何とか乗り越え、部員からコロナウイルス感染者を1人も出さずに終える事ができました。

(2) 今シーズンの戦績について

今シーズンはどの大学も活動を自粛していたため、入れ替え戦は行われず、試合数も大幅に減少させた4試合のみの開催でした。戦績としましては、【第1戦】vs花園大学、20-50で敗戦【第2戦】vs 大阪体育大学、21-97で敗戦【第3戦】vs 大阪国際大学、36-45で敗戦【第4戦】vs 大阪経済大学、42-41で勝利、でした。シーズンを通して、4戦1勝3敗と終わってみるとチームづくりが成功したと言えるシーズンではなく、最終戦の勝利のみが唯一後輩に残すことのできたものだと考えています。

(3) 今シーズンの総括

2020年の年初めのOB冊子におきまして「ディフェンスを強化し、勝てるチームを作り上げる」と抱負を申し上げましたが、その目標は半分も達成できずシーズンが終わってしまいました。1月から活動を開始して2ヶ月も経たないうちに活動自粛となってしまう、満足いく練習が

できなかったといえそうですが、自粛中にチームを強くできるような有効な施策を何か打ち出せなかった私を含めた幹部陣の対応力のなさが響いてしまったように感じています。自粛期間の自主練習を終え8月から活動が再開し、まだ深江グラウンドの使用許可が下りない中で、多くの方の協力の下外部のグラウンドにて練習を重ねました。OBの皆様も定期的に激励に来てくださり本当に心の支えとなっていました。落ちていたフィットネスやハンドリングを取り戻すことに苦心し、気づくと9月も過ぎていました。そこから11月の開幕に向け、アタック・ディフェンスの戦術落とし込みを行いました。結果的に間に合ったとは言えず、前述のような戦績となりましたが、後輩にはこの経験をバネに次シーズンこそは上位進出をしてほしいと考えています。しかし戦績が芳しくない一方で、3年生を中心とした新歓活動班が新入生勧誘を強化、SNSでの広報活動を中心に、今年度はマネージャーを含み15人の部員が入部しました。新入生の確保は神戸大学ラグビー部が継続的に強くなるために必須です。このメソッドを引継いで行くつもりです。

(4) 後輩へ

コロナ自粛期間において、縁がありまして関西学院大学アメフト部の前監督の鳥内さんとお話しする機会を頂きました。その言葉を後輩に残しまして最後とさせていただきます。

「脳みその肉離れはない」

コロナウイルスによる自粛によっていくら体が動かなくても、頭を使い過去のプレイを遡り、自分を分析・チームを分析することで「頭を使う」スポーツにしていける。これこそがこれからのラグビーに求められるのだと思います。どんな状況下でも諦めず「勝利」の事を常に考えて邁進してほしいと思います。

神戸大学ラグビー部に関わってくださっている全ての皆様、本当にありがとうございました。

2021 年度 新チーム首脳陣紹介

共同主将：山内 智大 (経営・新4)

川中 一慧 (海事科学部・新4)

副将兼BKリーダー：歌津 賢勇 (法・新4)

FWリーダー：桑田 雅也 (経済・新4)

主務：西 悠太 (経営・新3)

副務：南 竜太郎 (経営・新3)

2021 年度 OB 総会と春季試合予定

1月31日時点の情報です。ホームページで最新情報をご確認ください。

- ・OB戦、OB総会及び現役交歓会：未定
- ・東京支部総会：未定
- ・三商戦 対市立大：未定

- ・三商戦 対一橋大：未定
- ・定期戦 対東京海洋大：未定
- ・定期戦 対甲南大：未定
- ・定期戦 対関学大：未定
- ・近国体：未定

OB 会費納入のお願い

納入率 (会費を納入されている会員数 ÷ 全会員数) が4割程度という状況です。OB会収支は逼迫しており、節約に努めていますが、現役支援には資金不足の状況です。OB各位におかれては、ご自分だけではなく同学年の仲間に対し、OB会費の支払いを働きかけていただきたく、ご協力よろしくお願いします。

【年会費】

卒業後10年未満 6,000円 (マネージャーは3,000円)、卒業後10年以上 12,000円 (マネージャーは6,000円)、賛助会員5,000円。70才以上の卒業年度の方で特段の申し出のなかった皆様からは、ご寄付いただいたものとして引落しさせていただいておりますのでご了承ください。

【振込先：凌霜ラグークラブ】

三井住友銀行 天満橋支店 普通口座 0957978

三菱UFJ銀行 大阪駅前支店 普通口座 0027557

ゆうちょ銀行 口座 00960-4 302152

尚、自動引き落とし (毎年6月末) での納入方法も用意していますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願い致します。口座振替用紙を送付させていただきます。

凌霜ラグー通信バックナンバー

前号にて、欠番があることをお伝えしましたが、安中理事 (S32卒) のご協力により、全号揃えることができました。安中理事、ありがとうございました。

ホームページのご案内

試合予定や結果など、随時最新情報を掲載しています。ご覧ください。

OB会：<https://ameblo.jp/kobe-u-rfc-ob/>

現役：<https://www.koberfc-official.com/>

神戸大ラグビー部OB会事務局

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1

ベルモントコミュニケーションズ (株) 内

Fax：072-344-7985 (変更になりました)

Mail：kobe.u.rfc.ob@gmail.com